

海底土核種分析結果<1/2>

(データ集約：8/8)

| 採取場所 | 福島第一 5,6号機放水口北側 | 福島第一 南放水口付近 |
|--|--------------------|----------------|
| 試料採取日 | 平成26年3月4日 | 平成26年3月4日 |
| 検出核種 (半減期) | 試料濃度 (Bq/kg・乾土) | |
| Cs-134 (約2年) | 250 | 170 |
| Cs-137 (約30年) | 660 | 400 |
| Sr-90 (約29年) | 3.7 | 1.3 |
| 福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去の測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土 出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会) | | |

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

Cs-134, Cs-137については、平成26年4月17日公表。

Sr-90の分析は、株式会社 化研にて実施。

(評価)

検出されたSr-90の濃度は、平常時の福島第一及び福島第二付近の近海における測定値の範囲を上回っており、今回の事故に由来するものと考えられる。

海底土核種分析結果<2/2>

(データ集約：8/8)

| 採取場所 | 福島第一 5,6号機放水口北側 | 福島第一 南放水口付近 |
|------------------|--------------------|----------------|
| 試料採取日 | 平成26年5月12日 | 平成26年5月12日 |
| 検出核種 (半減期) | 試料濃度 (Bq/kg・乾土) | |
| Cs-134 (約2年) | 260 | 96 |
| Cs-137 (約30年) | 700 | 240 |
| Sr-90 (約29年) | ND | ND |

福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去の測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土
出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

Cs-134, Cs-137については、平成26年6月19日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Sr-90が約0.65Bq/kg・乾土。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-90の分析は、日本分析センターにて実施。

(評価)

今回測定した試料からはSr-90は検出されなかった。

海底土中のPu分析結果<1/2>

1. 測定結果：

(データ集約:8/8)
(単位：Bq/kg・乾土)

| 採取場所 | 採取日 | Pu-238 | Pu-239+Pu-240 |
|--|-----------|-------------------------------|--|
| 福島第一 5,6号機放水口北側 | 平成26年3月4日 | N.D. [1.7×10^{-2}] | $(7.7 \pm 1.2) \times 10^{-2}$ |
| 福島第一 南放水口付近 | | N.D. [1.6×10^{-2}] | $(3.5 \pm 0.81) \times 10^{-2}$ |
| 福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲 (平成11年度～平成20年度) ¹ | | - | $1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$ |
| 国内における過去の測定値の範囲(平成18年度～平成22年度) ² | | N.D. $\sim 6 \times 10^{-2}$ | - |

[]内は検出限界値を示す

- 1：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」
(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)
2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2. 分析機関：化研

3. 評価：

平成26年3月4日に検出されたPu-239+Pu-240の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値と同程度であることから、今回の事故に由来するものとは判断できない。

以 上

海底土中のPu分析結果<2/2>

1. 測定結果：

(データ集約:8/8)
(単位：Bq/kg・乾土)

| 採取場所 | 採取日 | Pu-238 | Pu-239+Pu-240 |
|--|------------|-------------------------------|--|
| 福島第一 5,6号機放水口北側 | 平成26年4月10日 | N.D. [1.4×10^{-2}] | $(9.5 \pm 1.1) \times 10^{-2}$ |
| 福島第一 南放水口付近 | | N.D. [9.8×10^{-3}] | $(6.8 \pm 0.81) \times 10^{-2}$ |
| 福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲 (平成11年度～平成20年度) ¹ | | - | $1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$ |
| 国内における過去の測定値の範囲(平成18年度～平成22年度) ² | | N.D. $\sim 6 \times 10^{-2}$ | - |

[]内は検出限界値を示す

- 1：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」
(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)
2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2. 分析機関：日本分析センター

3. 評価：

平成26年4月10日に検出されたPu-239+Pu-240の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値と同程度。

以上